

5  
M 209615  
(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08325813 A**

(43) Date of publication of application: **10.12.96**

(51) Int. Cl

**A41D 13/00**

(21) Application number: **07149574**

(71) Applicant: **YAMAHA MOTOR CO LTD**

(22) Date of filing: **24.05.95**

(72) Inventor: **MOCHIZUKI TOSHIAKI**

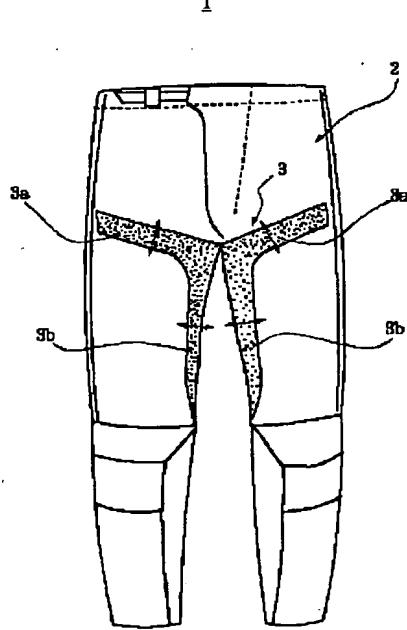
(54) MOTOCROSS PANTS

(57) Abstract:

PURPOSE: To improve motility, fitting property and air permeability by constituting joint parts of legs of motocross pants prepared by knitting nylon-based fiber and inside part of thigh from knits.

CONSTITUTION: The joint parts 3a of legs of pants 2 and inside part 3b of thigh are constituted of knits by a method knitting nylon based fiber and connecting knits to nylon-based fiber when the joint parts 3a of legs of pants 2 and the inside parts 3b of thigh are knitted. Thereby, the joint parts 3a of legs are mainly vertically stretched and the inside parts 3b of thigh are mainly contracted and stretched in right and left direction to enable legs to freely move.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-325813

(43)公開日 平成8年(1996)12月10日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
A 41 D 13/00

識別記号

庁内整理番号

F I  
A 41 D 13/00

技術表示箇所  
G

審査請求 未請求 請求項の数1 FD (全3頁)

(21)出願番号 特願平7-149574

(22)出願日 平成7年(1995)5月24日

(71)出願人 000010076

ヤマハ発動機株式会社

静岡県磐田市新貝2500番地

(72)発明者 望月 利明

静岡県磐田市新貝2500番地 ヤマハ発動機

株式会社内

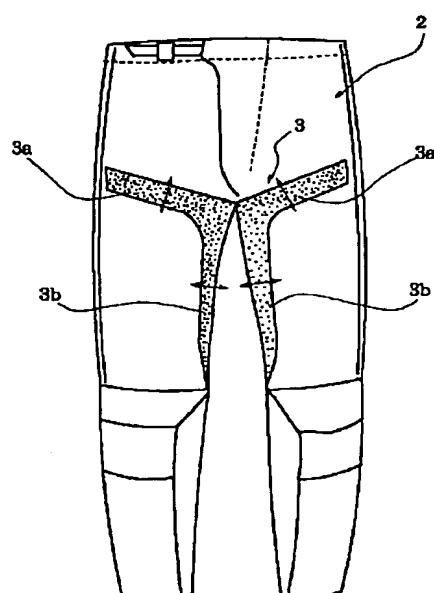
(74)代理人 弁理士 鶴若 俊雄

(54)【発明の名称】 モトクロスパンツ

(57)【要約】

【目的】運動性、フィット性、通気性の向上を図るモトクロスパンツを提供する。

【構成】ライダーがはくナイロン系の繊維を編んで製作されるモトクロスパンツ1において、パンツ2の脚の付ね部分3aと、太腿の内側部分3bにニット類を用いている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】ライダーがはくナイロン系の繊維を編んで製作されるモトクロスパンツにおいて、パンツの脚の付ね部分と、太腿の内側部分にニット類を用いたことを特徴とするモトクロスパンツ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、オフロードを走行するときにライダーがはくモトクロスパンツに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】ライダーは、例えば自動二輪車に乗車しオフロードを走行するとき、障害物との接触からの身体の保護、雨や水からの身体の保護等の理由で、上着を着て、さらにモトクロスパンツをはいている。このモトクロスパンツは、ナイロン系の繊維を編んで製作されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】このモトクロスパンツは、ナイロン系の繊維を編んで製作されているが、特に悪条件のオフロードを走行するときに、ライダーがはくモトクロスパンツには、身体を自由に動かすことができる運動性、身体になじむフィット性、さらに通気性が要求される。

【0004】この発明は、かかる点に鑑みてなされたもので、運動性、フィット性、通気性の向上を図るモトクロスパンツを提供することを目的としている。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決し、かつ目的を達成するために、請求項1記載の発明は、ライダーがはくナイロン系の繊維を編んで製作されるモトクロスパンツにおいて、パンツの脚の付ね部分と、太腿の内側部分にニット類を用いたことを特徴としている。

## 【0006】

【作用】請求項1記載の発明は、パンツの伸縮する脚の付ね部分と、太腿の内側部分にニット類を用いており、ライダーは身体を自由に動かすことができ、しかも身体になじみ、ニット類の部分で通気もよくなる。

## 【0007】

【実施例】以下、この発明のモトクロスパンツの実施例

を図面に基づいて説明する。図1はモトクロスパンツの正面図である。

【0008】モトクロスパンツ1は、ライダーが自動二輪車に乗車してオフロードを走行するときにはくものであり、ナイロン系の繊維を編んで製作されるが、パンツ2の両脚の付ね部分3aと、両脚の太腿の内側部分3bにニット類を用いている。

【0009】即ち、モトクロスパンツ1は、ナイロン系の繊維で編んでいき、パンツ2の脚の付ね部分3aと、

10 太腿の内側部分3bを編む時に、ナイロン系の繊維にニット類を連結して編む。また、モトクロスパンツ1は、パンツ2の脚の付ね部分3aと、太腿の内側部分3bを除いて、ナイロン系の繊維で編み、別にパンツ2の脚の付ね部分3aと、太腿の内側部分3bをニット類で編み、このニット類で編んだ部分3を、ナイロン系の繊維で編んだニット3に連結する等の方式でモトクロスパンツ1が製作される。

【0010】このように、モトクロスパンツ1には、パンツ2の伸縮する脚の付ね部分3aと、太腿の内側部分

20 3bにニット類を用いており、脚の付ね部分3aは、図中主に矢印で示す上下に延び、また太腿の内側部分3bは、図中主に矢印で示す左右方向に伸縮する。従って、ライダーが上着を着て、さらにモトクロスパンツ1をはいて自動二輪車に乗車し、悪条件のオフロードを走行するときに、脚を自由に動かすことができ、運動性がよく、身体になじむフィット性があり、さらに脚の内側部分の通気性もよい。

## 【0011】

【発明の効果】前記したように、請求項1記載の発明30 は、パンツの伸縮する脚の付ね部分と、太腿の内側部分にニット類を用いたから、ライダーは身体を自由に動かすことができ、しかも身体になじみ、ニット類の部分で通気もよい等の利点がある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】モトクロスパンツの正面図である。

## 【符号の説明】

1 モトクロスパンツ

2 パンツ

3a 脚の付ね部分

40 3b 太腿の内側部分

【図 1】

